

輝く未来へ今、袋井が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～

発行日：令和元年9月5日

## 第17回 学生フォーミュラ日本大会2019 クルマ+ものづくりに熱中する学生たちが大集結！



@小笠山総合運動公園（袋井市）

学生が自ら構想・設計・製作した車両により、ものづくりの総合力を競い、産学官民が支援して、自動車技術ならびに産業の発展・振興に資する人材を育成する大会。〔主催：公益社団法人自動車技術会〕

### 静岡理科大学が奮闘！ 2019年総合14位（目標：15位以内） [前年24位]



学生フォーミュラ日本大会2019  
2019.8.27(火)～31(土)開催

2019.8.21 静岡新聞（朝刊）



大会に向け意気込む学生＝袋井市役所

袋井支局・中原優介  
た。総合15位以内を  
目指す」と健闘を誓っ  
た。  
チーム全員で全力で  
戦い、

27日袋井、掛川両市の市役所で開催された。大会はガソリンエンジン車（ICV）の2部門に分かれ、両部門にそれぞれ10チームが出場する。袋井市役所では、今年大会はインバーターの故障は断念し、ICV部門のみの出場となった。「流走」をコンセプトに、走行性能を重視して整備した車両を紹介した。チームは「EVの出場はかなわなかったが、総合15位以内を

### 学生フォーミュラへ抱負 静岡理工科大生、車両も披露

袋井市役所

27日袋井、掛川両市の市役所で開催された。大会はガソリンエンジン車（ICV）の2部門に分かれ、両部門にそれぞれ10チームが出場する。袋井市役所では、今年大会はインバーターの故障は断念し、ICV部門のみの出場となった。「流走」をコンセプトに、走行性能を重視して整備した車両を紹介した。チームは「EVの出場はかなわなかったが、総合15位以内を



デザイン審査に臨む静岡理工科自動車大学のチーム  
＝27日午後、掛川市の小笠山総合運動公園

2019.8.28 静岡新聞（朝刊）

### 学生フォーミュラ開幕

小笠山自作マシン性能競う  
運動公園

学生が製作したフォーミュラカーの性能などを審査する「第17回学生フォーミュラ日本大会2019」（自動車技術会主催、静岡新聞社・静岡放送後援）が27日、袋井市と掛川市にまたがる小笠山総合運動公園で開催された。31日まで、国内外から集まった98チームが技術力を競う。県内からは静岡理工科大学、静岡工業自動車大学の3チームが出場。ガソリン車（ICV）と電気自動車（EV）の2部門で審査を進める。初日は、自動車メーカーの技術者らが審査員を務め、デザイン審査や車両の安全性などを判定する車検を行った。

点を審査員に説明し、チームキャプテンの渡辺匠海さんの「20分は耐久走行では完走を自指す」と話した。「一から車両を作り上